

月刊

通巻

648

2026年9月



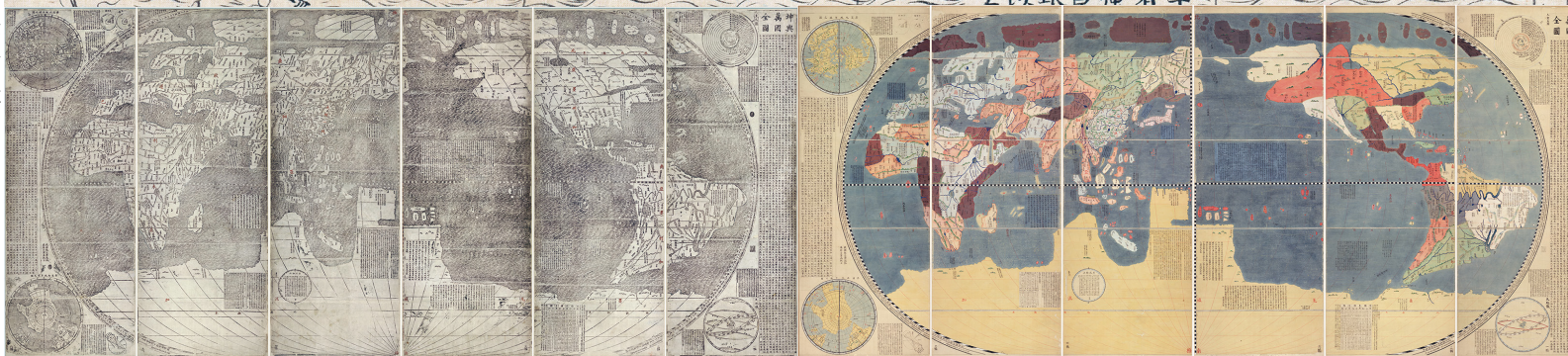
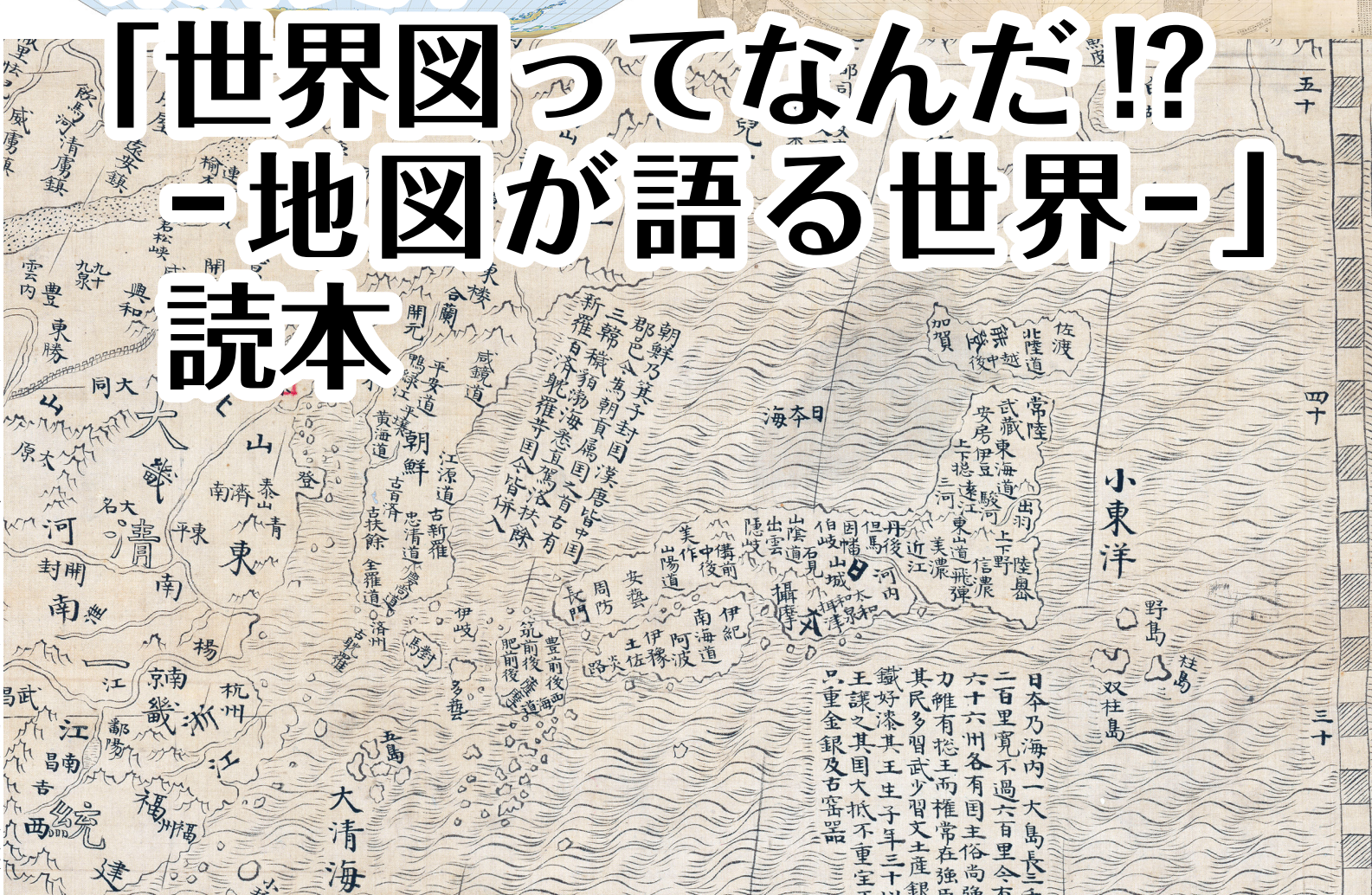
地図と学ぶ

地図中心

総特集

東洋文庫

「世界図ってなんだ!?
- 地図が語る世界 -」
読本



東洋文庫ミュージアム 企画展 世界図ってなんだ!?－地図が語る世界－	公益財団法人 東洋文庫	3
東洋文庫の『坤輿万国全図』	篠木 由喜	4
『坤輿万国全図』のなかの海域世界	高橋 公明	6
『坤輿万国全図』上の序跋など(翻訳)	高田 時雄	8
『坤輿万国全図』中国版と日本版を比べてみたら	篠木 由喜	15
① 日本 16 / ② メガラニカ(南方大陸) 18		
③ アラビア海の小島 20 / ④ ギリシャの先端 21		
⑤ ベネズエラの「らくうな」とは? 22 / ⑥ 砂漠・砂浜・浅瀬の表現 23		
⑦ 図の右上部 24 / ⑧ 長城のイラストの違い/⑨ 北京北の長城北側、山の有無 25		
⑩ イエズス会のロゴマークの有無、女人国・強盗島・夜人国 26		
⑪ ヨーロッパに相違無し、黄魚島 28 / ⑫ 番外編 緑峰島 30		
マテオ・リッチと『坤輿万国全図』－イエズス会士がもたらした科学技術－	多々良 圭介	31
方格図と山水図式地図	大澤 顕浩	32
長久保赤水『地球万国山海輿地全図説』1785(天明5)年頃か	篠木 由喜	34
長久保赤水の卵形世界図の展開	海田 俊一	36
新訂坤輿略全図	篠木 由喜	40
大地図帳	篠木 由喜	42
嶋蘭新訳地球全図	篠木 由喜	44
『坤輿万国全図』にいたる世界地図の図法の変遷	政春 尋志	46

新刊地形図案内 50 / 今月新刊の見どころ!・日本地図センター便り 51 / 編集後記・次号予告 52

月刊 地図中心

◆「地図中心」は毎月10日発行です◆

1冊 880円(税込)

地図倶楽部

◆紙版と電子版のご購読会員

年間購読1年間 12冊

プレミアム会員

6,600円(税・送料込)

プレミアム会員(シニア) 満65歳以上

5,500円(税・送料込)

◆電子版のみのご購読会員(紙版は送付されません)

地図倶楽部会員	会費(税込)	入会資格
一般会員	5500円	なし
一般会員(シニア)	4400円	満65歳以上
学生会員	2200円	学生または18歳未満の方

地図倶楽部事務局

map-club@jmc.or.jp 03-3485-5417

《表紙》

本誌特集の一部を抜粋して転載したもので、縮小・拡大・部分表示をしています。

地図検定

全検
ZENKEN KIKOU
機構

第46回

地図地理検定

地理総合

「ちずけん」で地図を楽しく読み・使う力を身につけよう!

地図大使
石原良純さん

2026年 11月8日(日)

申込締切: 10月下旬(詳細はウェブサイト)▷▷



地図地理検定
私も推薦します!

等高線や地図記号の意味を
知れば、地図に描き込まれた
無限の情報が理解できます。



地図地理検定「基礎」公式テキスト
『ちずけんでまなぶ地図と地理』
ほか、関連書籍も好評発売中!

主催 (一財)日本地図センター (公財)国土地理協会

後援 国土交通省国土地理院ほか

東洋文庫ミュージアム 企画展

世界図ってなんだ!?-地図が語る世界- Mapping the World -How Maps Reveal Changing Worldviews- 2026年10月7日(水)～2027年1月17日(日)

東洋文庫所蔵『坤輿万国全図』(清代写本)を主役とした世界地図展

世界がかつてないほど身近になる一方で、国や文化の違いがあら

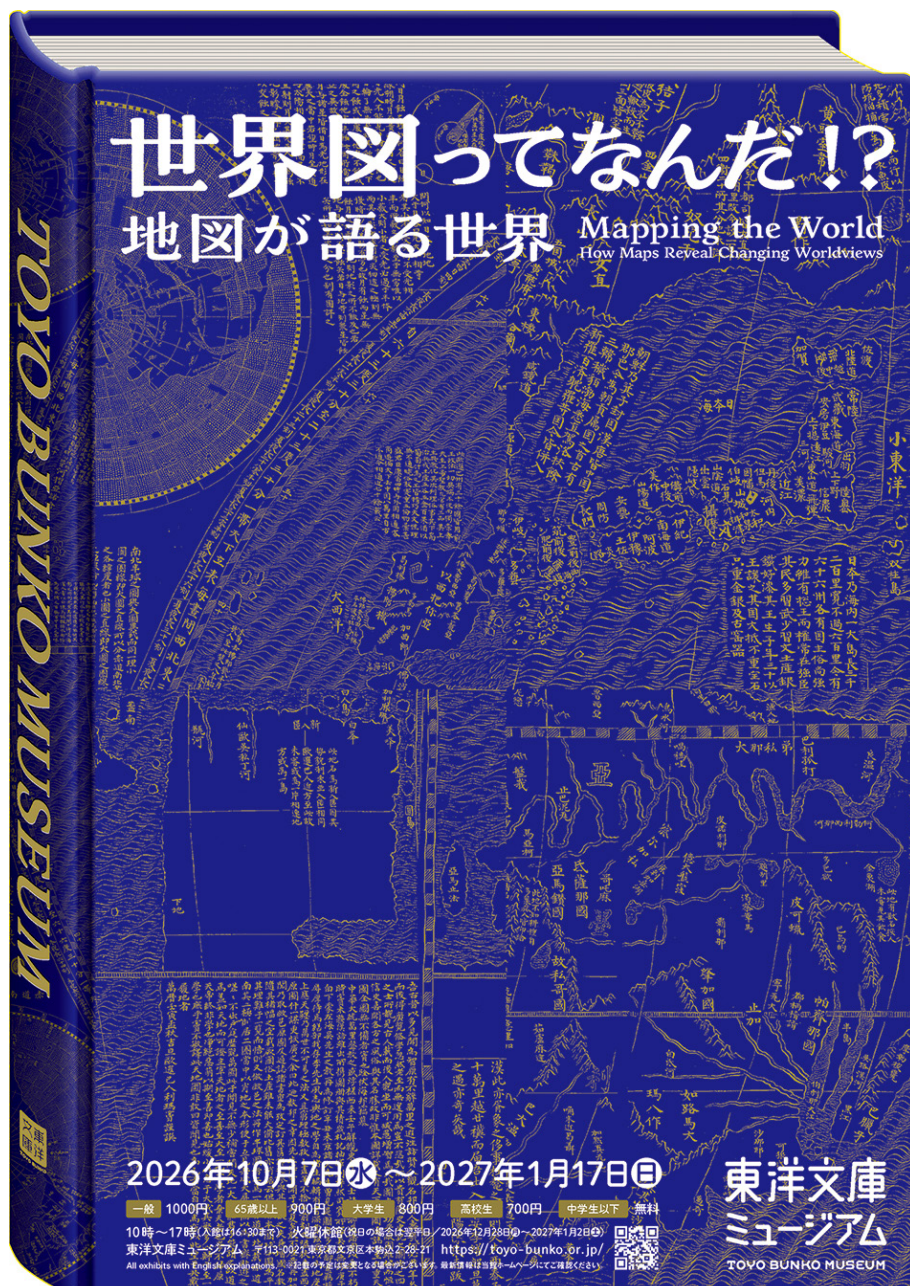
ため意識される時代を私たちは生きています。そんな今だからこそ、昔の人々はどんな世界を思い描き、未知の世界をどう理解しよ

公益財団法人 東洋文庫

うとしてきたのか、その出発点に立ち返ってみませんか。

主役は、17世紀初頭に西洋の知識と中国の世界観が融合して生まれた世界図、『坤輿万国全図』です。大規模な修復をほどこし、東洋文庫ミュージアム初公開となるこの地図を軸に、西洋・中国・日本における世界地図の変遷をたどり、地域ごとに異なる「世界との向き合い方」を浮き彫りにします。

過去の地図に描かれた世界が、今の私たちの視点を照らし返すきっかけとなれば幸いです。



公益財団法人 東洋文庫

住所：東京都文京区本駒込2-28-21
アクセス

駒込駅 (JR山手線・東京メトロ
南北線2番出口) 徒歩8分
千石駅 (都営地下鉄三田線A4番
出口) 徒歩7分



2026年10月7日(水)～2027年1月17日(日)

一般 1000円 65歳以上 900円 大学生 800円 高校生 700円 中学生以下 無料

10時～17時(入館は16:30まで) 火曜休館(休日の場合は翌平日) 2026年12月28日(月)～2027年1月2日(金)

東洋文庫ミュージアム 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21 <https://toyo-bunko.or.jp/>

All exhibits with English explanations. 本展覧会の内容は変更となる場合があります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。

東洋文庫
ミュージアム
TOYO BUNKO MUSEUM



東洋文庫の『坤輿万国全図』

しのき ゆき
篠木 由喜

イエズス会宣教師マテオ・リッチ（利瑪竇）は、1595年のマカオ到着から1610年の北京における客死に至るまでの15年間に、数度にわたって世界図を作製しています。そのうち、1602年に明代の北京で刊行されたのが『坤輿万国全図』です。「坤輿」とは、儒教経典『易経』に由来する言葉で、「乗り物としての大地」を意味します。刊行に際しては、明の官僚、李之藻（後に改宗しキリスト教徒に）が協力しました。本図のマテオ・リッチによる序文には欧

州の学術レベルの高さを示す意図が見え、これによって布教を進める狙いがあったと考えられます。

地図自体は、当時のヨーロッパで主流だったオルテリウスの世界地図などを基にしつつ、表記を漢文とし、中国人に受け入れられやすいよう「中国を中央に配置した世界図」として再構成されています。このような配置の世界地図は、本作が初めての試みでした。楕円形（卵型）に投影された大陸や海洋のほか、地図の余白には天文学的な図解や世界

の地理・民族に関する説明文、本図の作図方法などが漢文で細かく書き込まれています。こうして出来上がった地図に対し、明宮廷の保守的な大臣たちは「外夷（中華の外の世界）を誇張している」「中国の古書を盗作したデマだ」と猛烈に批判しましたが、当時の皇帝である万曆帝自身はこれを見て喜んだとされています。

日本への伝来については、リッチが在日のイエズス会士に送ったことで伝わったと推測されます。国内に残る日本製模写本の内容が初版からの模写であろうと推測されることから、刊行からかなり早い時期に日本へ伝来していたと考えられます。



東洋文庫所蔵「清代写本」に 刻まれた改訂の跡

東洋文庫が所蔵する本図（以下、中国清代模写本）は、中国国内で書き写された中国製模写本です。日本で広く作られた模写本とは異なり、中国本土で書き写された情報を受け継いでいる点に特徴があります。

明代の刊本にあった「大明一統」という記述が、本図では「大清一統」となっていることから、少なくとも清代になってから（1644年以降）写されたものと考えられます。さらに本図の記述を、序文などには初版の姿を留めていると考えられる宮

城県図書館所蔵の日本製模写本（以下、日本製模写本）、および明代の刊本（同館所蔵、以下、中国明代刊本）とされるもう一つのものと比較すると、刊行直後に計2回のマイナーチェンジが行われていた事実が浮かび上がります。

海野一隆（2005）*によれば、中国清代模写本では李之藻による序文が、中国の科学的地図学の出発の早さを誇示する内容へと改訂されています。一方で地名表記に目を向けると、後の明刊本で採用されたポルトガルを指す「波爾杜瓦爾」ではなく、日本製模写版と同じ「佛郎機（フランキ：元来はイスラーム文化圏で漠然とヨーロッパ人を指した

言葉の音訳）」という表記が使われています。

序文のみ訂正した中国清代模写本の存在から、『坤輿万国全図』はまず李之藻による序文の改訂が行われ、その後にマテオ・リッチによるポルトガル表記の改訂をするという、刊行直後に2回のマイナーチェンジが行われていたことが明らかになります。また、絹本であることから、貴人への贈り物として作られたことが想像されます。

* 海野一隆「利瑪竇『坤輿万国全図』の諸版」『東洋学報』第八十七巻、2005年

篠木 由喜

プロフィールは、35ページ



「坤輿万国全図」に近い現況世界図の作成にあたって、候補になった図法は、4種類。

ロビンソン図法は、1961(昭和36)年にアメリカの地理学者のアーサー・H・ロビンソンが考案。「坤輿万国全図」の全体像に一番近いと思われ、本特集で

採用しました。

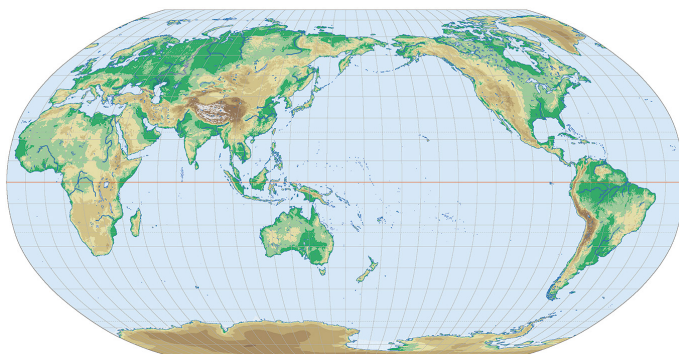
ヴィンケル図法は、1921(大正10)年にドイツの製図家のオズワルド・ヴィンケルが考案。現在の学校地図帳など多くの主題図で用いられています。

エケルト図法は、1906(明治39)年にドイツの地理学者の

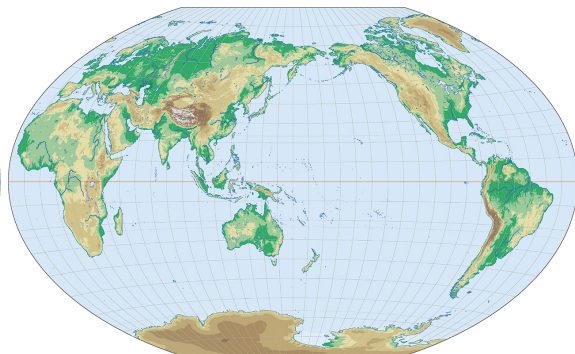
マックス・エケルトが考案。第4図法と第6図法は正積図です。

「坤輿万国全図」の中央経線は170°なのですが、グリーンランドが断裂するなどを避けるために、掲載した現況世界図では、中央経線を160°にしています。

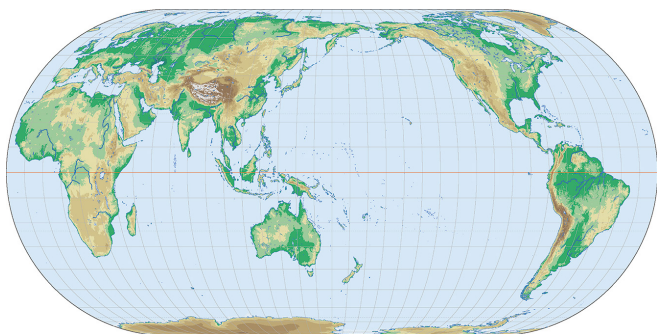
(編集長・小林政能)



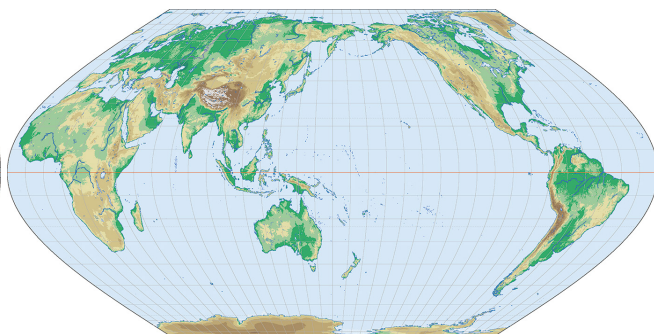
ロビンソン図法



ヴィンケル第3図法



エケルト第4図法



エケルト第6図法

次号予告 2026年10月 通巻649号

毎月10日発行

地図と学ぶ月刊

地図中心 総特集 変わり続ける都市・つくば

茨城県南部に位置するつくば市。1963(昭和38)年に研究学園都市の建設が決定、1985(昭和60)年の「つくば万博」を経て、1987(昭和62)年につくば市が誕生。

研究機関の集積や交通路の発達、筑波山周辺の豊かな自然景観など、さまざまな姿を見せながら今も変化し続けるつくば市の変遷を、地図でたどります。



所蔵：土浦市立博物館

バックナンバーのご案内

地図中心

検索

「地図倶楽部」へのご入会をお待ちしています! 03-3485-5417(事務局)

地図中心

2026-9 通巻648号

発行 2026年9月10日

発行所 一般財団法人日本地図センター

〒153-8522

東京都目黒区青葉台4-9-6

電話 03-3485-8125

FAX 03-3485-5593

(月刊「地図中心」編集室)

メール chushin@jmc.or.jp

URL https://www.jmc.or.jp

©一般財団法人日本地図センター

定価 880円(税込)

印刷所 昭栄印刷株式会社

地図と学ぶ月刊誌



本誌の一部あるいは全部を無断で複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、禁じられています。

雑誌 86689-09



4912866890960
00800